

県人教だより

第139号(2014年1月24日)

# ふ れ あ い

発行所：鳥取県人権教育推進協議会

鳥取市扇町21 県立人権ひろば21 ふらっと内

電話：0857 (22)0578 FAX：0857 (22) 0593

発行者：松 井 満洲男



## 新年のご挨拶

新しい年を迎え、1ヶ月近くなります。遅くなりましたが、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。昨年は皆様方より温かいご理解とご支援を賜り、本当に有難うございました。今年も皆様方にはいろいろとお世話になります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 第65回全国人権・同和教育研究大会徳島大会 特集

鳥取県参加者 225名



第65回全国人権・同和教育研究大会が11月23日・24日の2日間、徳島市を主会場に開催されました。阿波木偶箱まわし保存会による「三番叟箱まわし」の実演等のオープニングの後、全体会が始まり、主催者・来賓等の挨拶がありました。大会基調提案、大会宣言の朗読で開会行事が終了し、その後『三番叟箱まわし』を受け継いで」と題して、芝原生活文化研究所の辻本絵蘭さんの特別報告がありました。

23日の午後と24日の全日、21分散会で116本もの多くの報告をもとに熱心な討議交流が行われました。特に今大会は全同教結成60周年という記念大会でもありました。全人教広報誌「であい」には、「今大会は(略)、部落問題をはじめとするさまざまな人権問題の解決をめざして取り組んできたことを『原点』に立ち返ってという思いも重ね、日々隣りで取り組んでいる現場のなかまとの語らいを大切にしながら創り上げることを確かめ合えた大会だった。」と徳島大会成功の意義が述べてあります。

2日間の参加者は約12,000名だったそうで、その内鳥取県参加者は225名でした。参加された皆様、お疲れ様でした。鳥取県代表として北栄町立北条小学校の入江明代さん・河原久子さん、(株)M・Aサービスの岡田文さんがそれぞれの分散会で堂々と発表されました。どちらの報告も共感を持って受

け止められ、会場から質問や感想が相次ぐなど高い評価を得ました。本当に有難うございました。参加された報告者・実践報告協力者の方々の感想を紹介します。詳しい報告は3月に発行予定の「人権問題学習その実践」第22集に掲載いたしますので、ご覧ください。

### 報告者として参加して

#### 「東日本大震災を通して『生き方』を問い直す」



～ Kさんにスポットをあてて～

北栄町立北条小学校 入江 明代・河原 久子

<第1分科会第4分散会 徳島市加茂名小学校>

1日目参加者=393名

2日目参加者=256名 合計=649名

「東日本大震災を通して「生き方」を問い直す」という題でまとめた内容を多くの方にご意見を頂き、推敲を重ねて当日を迎えました。その中で深く見つめ直したことは、自分自身の「生き方」

でした。当日も会場の皆さんと議論を交わしながら、人のぬくもりを感じ、人を大切にする自分でありたいと切に感じました。教師としても「差別の現実には深く学ぶ」気持ちを忘れず、更に、励まし支え合える仲間作りの力量を高めたいと思いました。多くのことを学ばせて頂き、ありがとうございました。

### 報告者として参加して

#### 「やっています、民間企業でのA型事業所」



(株)M・Aサービス 岡田 文

<第4分科会第3分散会 徳島市富田小学校>

1日目参加者=313名

2日目参加者=362名 合計=675名

徳島全体が大会一色で、役目の大きさにつぶされそうになりながらの参加でしたが、会場の皆さんの熱心な思

いを感じることで、ありのままの実践報告ができ、私にとってとても有意義な、そして温かい大会でした。

65回という歴史ある大会での経験を生かして、今後も人権の尊厳を絶対正義とし、会社の継続をすることが、この大会に参加させていただいた恩返しでもあると痛感いたしております。大切なものをみつけた大会参加に感謝です。



---

## 実践報告協力者(司会者)として参加して

国府人権福祉センター 村島 祐子

2日間で12,000人を超える熱心な大会となりました。社会教育〈人権確立をめざす人づくり・組織づくり～地域の教育力・子ども会活動～〉第1分散会場も、1日目940人、2日目819人の参加があり、徳島県総ぐるみの熱意を感じさせられました。

解放子ども会活動のレポートが激減している中で、子どもたちの育ちや進路の保障、社会的立場の自覚を支える、大人のネットワークの大切さが再確認されましたが、レポートからは、地域や親の姿が見えにくく、また、大会参加もできていないことが今後この分科会の存続にかかわる大きな課題と感じます。司会者として10年間学ばせていただきました。今後は、フロアから課題解決へのチャレンジをしていきたいと心に決めた大会でした。ありがとうございました。

※文中にもありますように、村島さんは今年度末をもって全人教実践報告協力者を退任されます。

10年間という長きにわたり、大変お世話になりました。(県人教事務局)

---

---

## 実践報告協力者(司会者)として参加して

南部町立会見小学校 福原 潤一

徳島の地で開催された第65回大会ですが、約12,000人の参加者が集まり、大変盛会でした。私の担当した分科会場も二日間で述べ1,400人が6本のレポートをもとに熱い論議を行いました。都府県によっては学校現場も若い教職員が多くなっている状況のせい、発表者も発言者も若い方が多かったように思いました。鳥取県でも、これまでの人権・同和教育の成果を若い世代にどう引き継いでいくのかを本気で考えていかなければならないと感じました。

---

---

## 実践報告協力者(司会者)として参加して

鳥取県立倉吉総合産業高校 尾坂 紀生

私は『進路・学力保障』分科会の第3分散会の実践報告協力者として参加した。初めての任務ということで若干緊張の2日間だったが、報告者との打ち合わせや司会進行、総括会議を通して自らの課題とは何かを問い直している自分がいた。司会が下手で討論はかみ合わないことも多かったのだが、特に「背景に丁寧にせまる」ということがどういうことなのかを改めて考えさせられた。そして、被差別部落出身生徒やマイノリティー生徒が放置されているという危機感を持った2日間だった。実践報告者として参加できる自分でありたいと思った。

※尾坂さんは今年度より、福田和博さんの後任として全人教実践報告協力者の役を引き受けて下さいました。福田さん、有難うございました。尾坂さん、よろしく願います。(県人教事務局)

---

---

## 来年度の研究会等 日程

現在わかっているものについてお知らせします。

### <県内>

- 第39回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会(倉吉市) 7月31日(木)1日開催  
全体会場 倉吉未来中心大ホール  
分科会場 倉吉未来中心小ホール 他中部地区町

### <県外>

- 第66回全国人権・同和教育研究大会(香川大会) 12月6日(土)～7日(日)
  - 1 会場 全体会場 メイン会場 高松市総合体育館メインアリーナ  
サブ会場 アルファあなぶきホール  
フレトピアホール(土庄町総合会館)  
分科会場 高松市内公共施設(学校教育部会)  
土庄町・小豆島町内公共施設(社会教育部会)
  - 2 テーマ 「差別の現実から深く学び、生活を高め、未来を保障する教育を創造しよう  
～部落問題を解決し、人権文化の創造をはかるために、  
同和教育の充実と発展を通して人権教育・人権啓発を構築していこう～」  
地元大会テーマ……「瀬戸の風にのせて 広がれ 人権と共生の社会」
- 全人教教育課題別研究会～創る つながる きり拓く～(東京都) 7月25日(金)
- 全人教「豊かな人権教育の創造」実践交流会(山口県宇部市) 7月31日(木)
- 部落解放研究第48回全国集会(京都市) 10月20日(月)～22日(水)
- 第39回部落解放・人権西日本夏期講座(鹿児島市) 7月10日(木)～11日(金)

### 編集後記

全国人権・同和教育研究大会は好天に恵まれ、参加者の足取りも軽かったように思います。どの分散会も活気に溢れ、特に若い参加者からの質問や意見が目立った大会でもありました。

北条小学校の報告に対しては会場から「素敵なお報告だった。」「勇気ある実践だ。」という意見が続きましたし、岡田さんの報告では、涙をぬぐいながら聴き入る女性グループの姿もありました。この場に至るまでには県内事前検討会もあり、本来のお仕事の合間を縫っての発表原稿作成等、大変お忙しい時を過ごされたことと思います。改めて御礼申し上げます。有難うございました。(県人教事務局)

